



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 戸谷 光久

TEL 03-3232-1600

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,568	46.3	80	△2.4	79	△0.7	13	693.0
22年3月期第2四半期	1,072	—	82	—	79	—	1	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	503.43	494.24
22年3月期第2四半期	63.71	62.69

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	2,072	1,517	69.0	53,018.54
22年3月期	2,219	1,559	63.6	52,523.49

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,430百万円 22年3月期 1,411百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,440	45.4	290	37.7	280	36.2	208	104.1	7,707.12

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。)

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有  
新規 一社 (社名 )、除外 一社 (社名 株式会社じげん )

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 26,988株 22年3月期 26,882株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 一株 22年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 26,888株 22年3月期2Q 26,794株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	1
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	1
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2 . その他の情報 .....	2
( 1 ) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
( 2 ) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
( 3 ) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	2
( 4 ) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
3 . 四半期連結財務諸表 .....	3
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	3
( 2 ) 四半期連結損益計算書 .....	5
( 第 2 四半期連結累計期間 ) .....	5
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
( 5 ) セグメント情報 .....	7
( 6 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における我が国経済は、円高・デフレの進行、国内株価の低迷に加え、雇用情勢も依然として厳しい環境にあり、先行き不透明な状況が続いております。

IT業界におきましては、2007年から顕著となったFacebook上でのソーシャルアプリケーションの爆発的な成長を受け、mixi、GREE、モバゲータウンなど国内のソーシャルネットワークサービス上でも外部デベロッパーがアプリケーションを提供できる環境が整ってまいりました。

こうしたソーシャルアプリケーション市場の立ち上がりの中で、当社グループは、既存の携帯端末向けコンテンツを提供するキャリア公式サイトに加え、PC及び携帯端末向けにソーシャルゲームの提供及び、ソーシャルゲームと連携した広告サービスの提供に注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高1,568,688千円（前年同期比46.3%増加）、営業利益80,848千円（前年同期比2.4%減少）、経常利益79,408千円（前年同期比0.7%減少）、四半期純利益13,536千円（前年同期比693.0%増加）となりました。

なお、事業別の業績の状況は以下のとおりであります。

#### エンタメウェブ

エンタメウェブでは、携帯電話きせかえ事業を中心とした携帯コンテンツ事業及び、ソーシャルゲームサービス事業におきまして、売上について当初計画のとおり推移いたしました。

費用面では、保守的に計画していた人件費が当初想定よりも低く抑えられた一方で、携帯コンテンツ事業における広告宣伝費の増加に加え、ソーシャルゲームサービス事業における運用費が増加致しました。

以上の結果、エンタメウェブにおける当第2四半期連結累計期間の売上高は1,004,634千円（前年同期比70.2%増加）、セグメント利益は63,454千円（前年同期比18.4%減少）となりました。

#### マーケティングソリューション

マーケティングソリューションでは、法人向けにソリューションの提供を行っておりますが、依然として法人の投資抑制が続いており、事業としましては低調に推移いたしました。

マーケティングソリューションにおける当第2四半期連結累計期間の売上高は564,054千円（前年同期比17.1%増加）、セグメント利益は17,394千円（前年同期比248.3%増加）となりました。

今後につきましては、SNSがもつ繋がり情報を通じて効果的にアプローチがかけられるソーシャルアプリビジネスの特性を生かしながら他事業との相乗効果を高め、競争力を強化してまいります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は2,072,536千円となり、前連結会計年度末に比べ146,960千円減少しました。

その主な要因は、株式会社じげん株式の譲渡による同社関連の現預金等の連結除外などによるものであります。

自己資本比率につきましては、未払法人税の減少や、有利子負債の返済等により負債が105,450千円減少したことにより、69.0%と前連結会計年度末から5.2ポイント増加いたしました。

#### (キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は489,162千円となり、前連結会計年度末と比較して135,669千円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は79,335千円の収入（前年同四半期は60,099千円の収入）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益40,424千円を計上したことや、減価償却費の計上額45,606千円、のれん償却費の計上額49,861千円、減損損失の計上額50,485千円等であり、主なマイナス要因は、売上債権の増加額56,343千円、法人税等の支払額54,107千円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は154,196千円の支出（前年同四半期は69,502千円の支出）となりました。主な要因は無形固定資産の取得による支出129,653千円、連結範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出10,620千円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は60,808千円の支出（前年同四半期は57,857千円の支出）となりました。長期借入金の返済による支出66,200千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降におきましても景気後退の影響や、最悪期を脱したものの依然として雇用情勢が不透明であることから、これに伴う変動要因を見込むことが困難であるため平成22年10月22日に公表いたしました連結業績予想から修正をいたしません。

なお、第3四半期以降の業績につきましては、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

連結の範囲の変更

連結子会社であった株式会社じげんは平成22年9月27日付で当社が保有する全株式を売却したことに伴い、当第2四半期連結会計期間末より連結の範囲から除外しております。

変更後の連結子会社の数

2社

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1,816千円、1,816千円、5,393千円減少しております。

企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	489,162	624,831
受取手形及び売掛金	559,178	536,542
商品及び製品	2,657	1,090
仕掛品	3,753	1,664
貯蔵品	963	732
繰延税金資産	6,367	15,926
前払費用	27,638	35,979
その他	4,263	11,005
貸倒引当金	15,601	23,770
流動資産合計	1,078,383	1,204,001
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	33,297	28,632
工具、器具及び備品(純額)	18,121	25,299
有形固定資産合計	51,419	53,931
<b>無形固定資産</b>		
のれん	647,163	697,385
ソフトウェア	186,670	142,682
ソフトウェア仮勘定	28,003	26,672
その他	1,422	2,620
無形固定資産合計	863,260	869,359
<b>投資その他の資産</b>		
長期前払費用	392	1,169
繰延税金資産	1,057	666
敷金	70,353	83,680
その他	7,668	6,686
投資その他の資産合計	79,472	92,203
固定資産合計	994,152	1,015,495
資産合計	2,072,536	2,219,496

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,713	34,483
1年内返済予定の長期借入金	127,600	132,400
未払金	285,530	229,143
未払法人税等	9,944	56,911
未払消費税等	15,425	23,480
前受収益	17,101	16,684
前受金	57	69,816
賞与引当金	2,344	3,069
ポイント引当金	6,532	6,942
その他	16,949	26,127
流動負債合計	539,200	599,059
固定負債		
長期借入金	-	61,400
繰延税金負債	481	-
資産除去債務	15,327	-
固定負債合計	15,809	61,400
負債合計	555,009	660,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,045,198	1,042,502
資本剰余金	1,286,178	1,283,482
利益剰余金	900,513	914,049
株主資本合計	1,430,864	1,411,936
新株予約権	19,321	12,006
少数株主持分	67,341	135,093
純資産合計	1,517,527	1,559,036
負債純資産合計	2,072,536	2,219,496

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,072,045	1,568,688
売上原価	288,853	610,566
売上総利益	783,192	958,122
販売費及び一般管理費	700,383	877,274
営業利益	82,809	80,848
営業外収益		
受取利息	129	127
為替差益	-	506
消費税差益	748	1
還付加算金	379	-
その他	714	346
営業外収益合計	1,971	981
営業外費用		
支払利息	2,483	1,421
株式交付費	7	-
支払手数料	2,000	1,000
その他	315	0
営業外費用合計	4,806	2,421
経常利益	79,975	79,408
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	6,973
ポイント引当金戻入益	906	1,054
新株予約権戻入益	6,250	996
関係会社株式売却益	-	9,924
その他	-	1,523
特別利益合計	7,156	20,472
特別損失		
減損損失	-	50,485
和解金	10,000	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3,577
その他	2,021	5,392
特別損失合計	12,021	59,455
税金等調整前四半期純利益	75,111	40,424
法人税、住民税及び事業税	39,795	8,164
法人税等調整額	29,390	8,815
法人税等合計	69,185	16,979
少数株主損益調整前四半期純利益	-	23,445
少数株主利益	4,218	9,908
四半期純利益	1,706	13,536

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	75,111	40,424
減価償却費	21,460	45,606
のれん償却額	49,795	49,861
株式報酬費用	2,205	8,311
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3,577
関係会社株式売却損益(は益)	-	9,924
減損損失	-	50,485
貸倒引当金の増減額(は減少)	469	7,211
賞与引当金の増減額(は減少)	320	724
受取利息及び受取配当金	129	127
支払利息	2,483	1,421
新株予約権戻入益	6,250	996
和解金	10,000	-
その他の特別損益(は益)	930	5,392
売上債権の増減額(は増加)	9,693	56,343
たな卸資産の増減額(は増加)	333	3,888
前払費用の増減額(は増加)	2,728	4,619
仕入債務の増減額(は減少)	15,055	23,707
未払金の増減額(は減少)	13,848	54,680
未払消費税等の増減額(は減少)	1,732	6,252
その他	639	58,881
小計	161,890	134,500
利息の受取額	129	127
利息の支払額	2,276	1,185
和解金の支払額	10,000	-
法人税等の支払額	89,643	54,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,099	79,335
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	5,787	8,951
無形固定資産の取得による支出	46,530	129,653
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出	-	10,620
差入保証金の差入による支出	1,115	1,482
敷金の差入による支出	15,949	3,051
その他	119	436
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,502	154,196
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	66,200	66,200
株式の発行による収入	8,342	5,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,857	60,808
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	67,259	135,669
現金及び現金同等物の期首残高	651,360	624,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	584,100	489,162

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	ビジネス ソリューション (千円)	ウェブ サービス (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上	344,134	727,911	1,072,045	-	1,072,045
(2)セグメント間の内部売上又は振替高	13,196	3,813	17,009	( 17,009)	-
計	357,330	731,725	1,089,054	( 17,009)	1,072,045
営業利益又は営業損失( )	34,311	117,119	82,809	( - )	82,809

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

従って、当社はサービス別のセグメントから構成されており、「エンタメウェブ」、「マーケティングソリューション」の2つを報告セグメントとしております。

「エンタメウェブ」は個人向けのサービスとしてエンタメコンテンツの提供をしており、主に携帯電話きせかえ事業等の携帯コンテンツ、並びにソーシャルゲームを提供しております。「マーケティングソリューション」は法人向けのサービスとして、主にマーケティング効果を高める広告技術等のソリューションを提供しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エンタメウェブ	マーケティング ソリューション	計		
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	1,004,634	564,054	1,568,688	-	1,568,688
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	11,400	11,400	11,400	-
計	1,004,634	575,454	1,580,088	11,400	1,568,688
セグメント利益	63,454	17,394	80,848	-	80,848

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、事業区分は「ビジネスソリューション」「ウェブサービス」の2事業に区分していましたが、当連結会計年度より、当社の事業内容の範囲について見直しを行い、現在内部利益管理上採用している事業内容と事業の種類別セグメント区分の対応関係を明確にすることにより、グループ全体の経営実態をより適切に反映するために「エンタメウェブ」「マーケティングソリューション」の2事業に区分を変更しました。

なお、前連結累計期間及び前連結会計期間のセグメント情報を、当連結累計期間及び当連結会計期間において用いた事業区分に従って組み替え、表示すると次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 （注）
	エンタメウェブ	マーケティングソリューション	計		
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	590,210	481,835	1,072,045	-	1,072,045
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	-	13,196	13,196	13,196	-
計	590,210	495,031	1,085,241	13,196	1,072,045
セグメント利益	77,815	4,994	82,809	-	82,809

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

エンタメウェブ及びマーケティングソリューションにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェア及び商標権の帳簿価額を全額減額しました。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、エンタメウェブにおいては13,878千円、マーケティングソリューションにおいては、29,538千円となっております。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。